

2026 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 J N グループ
 代 表 者 名 代表取締役社長 石原 直樹
 (スタンダード市場・コード 6634)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 取締役管理本部長 齊藤 洋介
 電 話 03-5766-9870

関係会社株式譲渡損（個別）、持分法による投資損失（連結）の計上並びに 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 11 月期第 3 四半期において、関係会社株式譲渡損（個別）及び持分法による投資損失（連結）を計上いたしました。

また、これらの状況及び最近の業績の動向等を踏まえ、2026 年 10 月 14 日開催の取締役会において、2026 年 1 月 16 日に公表した 2026 年 11 月期（2025 年 12 月 1 日～2026 年 11 月 30 日）の通期業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2026 年 11 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 12 月 1 日～2026 年 11 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,383	百万円 103	百万円 △184	百万円 111	円銭 3.06
今回修正予想（B）	3,373	△792	△1,891	△1,931	△46.50
増減額（B－A）	△1,009	△896	△1,707	△2,042	
増減率（％）	△23.0	－	－	－	
（ご参考）前期連結実績 （2025 年 11 月期）	3,562	△223	△250	△728	△20.05

2. 修正の理由

（1）売上高及び営業利益

暗号資産・ブロックチェーン事業においては、主に連結子会社である株式会社 Zaif において、暗号資産市況の低迷によりフロー収益・ストック収益ともに当初の見通しを下回って推移していることに加え、自己保有暗号資産に係る評価損を計上したことから、売上高及び営業利益が当初計画を下回る見込みとなりました。

ソリューション事業においては、連結子会社である株式会社 JN ソフトにおいて、パートナービジネスの受注が計画を大きく下回ったことに加え、中途採用者の未稼働期間の発生や外部リソースの確保の遅延等により、売上高が当初計画を下回る見込みとなり、これに伴い営業利益も当初計画を下回る見込みとなりました。

（2）経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

持分法適用関連会社である株式会社 CAICA DIGITAL（以下「CAICA DIGIT

AL」といいます。)及び株式会社フィスコ(以下「フィスコ」といいます。)に係る持分法による投資損失を営業外費用として計上する見込みであること(後記「4」参照)に加え、上記(1)の営業利益の減少により、経常利益の業績予想を修正いたします。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、フィスコ株式の売却に伴う投資有価証券譲渡損を特別損失として計上したこと(後記「3」参照)から、業績予想を修正いたします。その結果、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失となる見通しです。

3. 関係会社株式譲渡損の計上(個別)

当社は、当第3四半期会計期間において、保有するフィスコの株式を売却いたしました。これに伴い、2026年11月期第3四半期の個別決算において、関係会社株式譲渡損162百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、連結決算においては、投資有価証券譲渡損50百万円を特別損失として計上しております。

4. 持分法による投資損失の計上(連結)

連結決算においては、CAICA DIGITAL及びフィスコについて、直近の業績動向及び株価推移を踏まえた結果、当第3四半期連結累計期間において持分法による投資損失996百万円を営業外費用として計上いたしました。また、通期では1,058百万円を計上する見込みです。

※本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上